

第 101 期(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)
業務報告書 / ミニディスクロージャー誌





ごあいさつ

初夏の候、会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、にいかわ信用金庫に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当金庫の第101期(令和5年度)の事業概況と決算状況につきまして、
ご報告申し上げます。

理事長 本多 敏明

■金融経済環境

令和5年度の経済環境をみると、コロナウイルス感染症収束後、社会経済活動の正常化が進むに伴い、景気は緩やかな回復が続きました。他方、海外情勢は、ウクライナや中東等をはじめとする地政学リスクの増大、中国経済の先行き懸念、欧米の金融引き締め等の動向等といった不確実性の高い状況が続いており、わが国の景気を下押しするリスクが引き続き懸念されています。

また、中小企業等を取り巻く経営環境は、コロナ収束後の業績回復のみならず、人口減少・少子高齢化の進展に伴う慢性的な人手不足に向けた対応、原材料価格の高騰などによるコスト増加、デジタル(DX)の進展や脱炭素化をはじめとしたサステナブル社会の実現に向けた取り組み(GX)等への対応の必要性など、ますます課題が山積しております。

当金庫の営業エリアである富山県内においては、物価上昇、供給面での制約、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクに十分注意する必要があるとしながらも、ウィズコロナの下での各種政策の効果もあって、景気は持ち直しが続きました。しかしながら、本年1月1日に発生いたしました令和6年能登半島地震により能登半島を中心に甚大な被害が発生、県内においても地震の影響等により、消費の一部や生産が弱い動きに転じました。先行きについては、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待されますが、地震による県内経済への影響について国内外の景気動向とあわせて十分留意する必要があります。

金融環境においては、世界的な物価上昇が落ち着きピークアウトするなか、欧米の中央銀行は「金融引締め政策」を維持しました。国内においては円安進行に伴う輸入コストの上昇等から継続的に物価は上昇しました。日本銀行は本年3月開催の金融政策決定会合で「2%の物価安定の目標」の持続的・安定的な達成が見通せる状況に至ったと判断し、2013年4月から続いていた異例の大規模緩和政策の終了を決めました。

■当金庫の事業概況

預金積金は、おもに法人預金の減少があり、前期比33億80百万円減少の1,763億93百万円となりました。貸出金は、コロナ関連制度融資の返済開始から法人向けが減少、前期比28億27百万円減少の650億96百万円となりました。その他、預け金残高は前期比155億27百万円増加の816億9百万円、有価証券残高はポートフォリオを見直したことから、前期比162億56百万円減少の294億94百万円となりました。

収支面をみると、経常収益は、有価証券売却による売却益の増加と貸倒引当金の戻し入れにより、前期比2億48百万円増加の19億50百万円となりました。経常費用は、有価証券売却による売却損と貸出金償却の発生により、前期比2億83百万円増加の17億66百万円となりました。

この結果、経常利益は前期比34百万円減少の1億83百万円、当期純利益は1億76百万円となりました。なお、金融機関の重要指標の一つである自己資本比率につきましては、9.83%と国内基準の4%を十分に確保しているほか、本業の利益を示すコア業務純益は、ほぼ前期並みの2億50百万円を維持しており、健全性は確保しております。

■事業の展望および対処すべき課題

富山県をはじめとする北陸の景気は緩やかな回復が続きましたが、一方で、地域経済の担い手である中小企業は、原材料価格の高騰・賃金の上昇などによるコスト増加をそのまま価格に転じることは難しく、また人手不足等多くの経営課題に直面し、厳しい状況下に置かれています。さらに、令和6年元旦に発生した能登半島地震は、社会インフラの復旧に時間を要するなど、地域の経済に深刻な打撃をもたらしており、お客様を取り巻く環境は依然として不安が大きい状況にあります。

当金庫の事業環境を見渡せば、人口や事業所の減少に伴う顧客基盤の縮小、人手不足解決に向けた人材獲得などの以前からの課題に加え、2%の物価安定目標の実現の兆しなどを踏まえると、日本銀行の金融の正常化を見据えたリスク・マネジメントの重要性が増していることなど、今後の展望は楽観できる状況にはないと考えております。

このような環境下、引き続き厳しい状況に直面している地域の事業者も多く、コロナの出口が見えてくる局面での資金繰り支援に加え、更なる経営改善支援等への取組みが重要になってきております。当金庫では2024~2026年度中期事業計画を策定しました。その基本方針は、「経営陣・本部・営業店が一体となって強い現場を作り、お客様への価値提供を通じて存在感をさらに高めるため、従来の考え方や行動、業務組織のあり方を抜本的に見直す」というものであり、これらの実現により引き続き地域からの負託に応えていく所存でございます。

また、昨年度、当金庫は創立100周年を迎え、懸賞品付き定期預金の販売、お客様との九州旅行の実施、各地域の社会福祉協議会への非常用発電機の寄贈など、様々な100周年記念事業を実施しました。地域の皆さまからの長年に亘るご支援にあらためて感謝申し上げます。

地域を取巻く環境が厳しさを増すなか、当金庫の役割は益々重要なものとなりますが、豊かで持続可能な地域社会の実現を図るために、役職員一人ひとりがその持てる力を結集し、遺憾なく発揮していく所存でございますので、皆様には、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

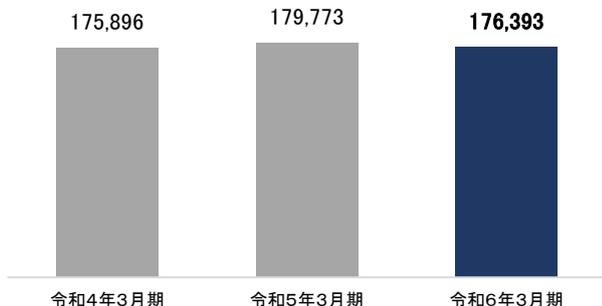
令和6年6月

令和5年度の事業概況

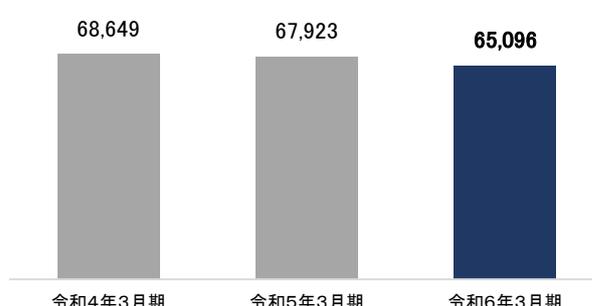
【預金積金・貸出金の状況】

- 預金積金は、コロナウイルス感染症の5類移行により行動制限が緩和されたこともあり、前期比33億80百万円減少しました。
- 貸出金は、事業者向けのコロナ関連制度融資の返済開始等もあり、前期比28億27百万円減少しました。

預金積金の状況
(百万円)



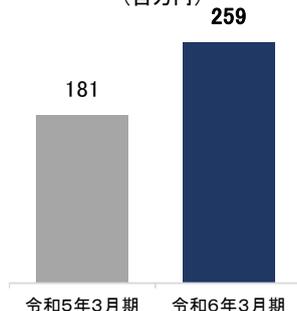
貸出金の状況
(百万円)



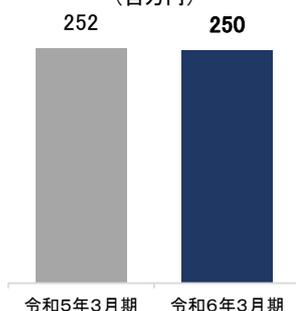
【収益の状況】

- 業務純益は、国債等債券売却益を確保したことから、前期比77百万円増の2億59百万円となりました。なお、本来の事業活動の利益を示すコア業務純益については、ほぼ前期並みの2億50百万円となりました。
- 経常利益は、与信関連費用が増加した結果、前期比34百万円減の1億83百万円、当期純利益は1億76百万円となりました。

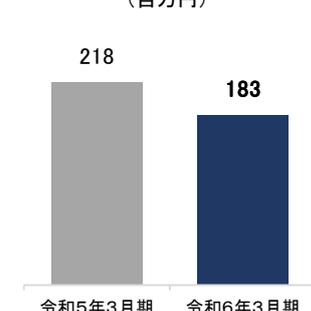
業務純益
(百万円)



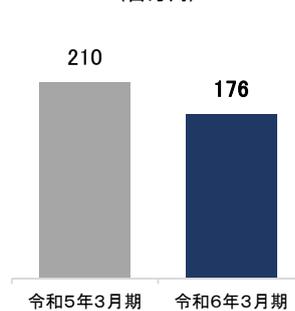
コア業務純益
(百万円)



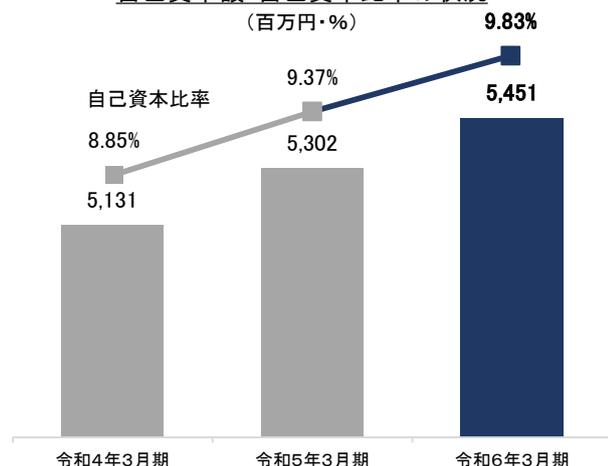
経常利益
(百万円)



当期純利益
(百万円)



自己資本額・自己資本比率の状況
(百万円・%)



【自己資本の状況】

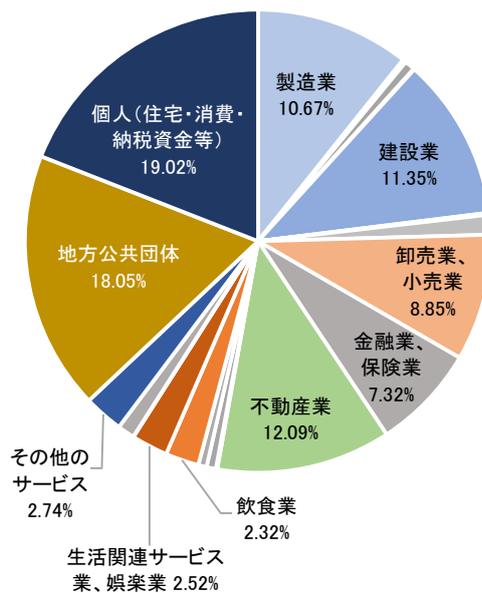
- 自己資本額は、当期利益の積み上げから、前期末比1億49百万円増加の54億51百万円となりました。
- 自己資本比率は、自己資本額の増加により、前期比0.46ポイント上昇の9.83%となりました。国内基準で定められた4.00%を上回る水準を確保しております。

【貸出金業種別内訳】

(単位:百万円)

	令和5年3月期		令和6年3月期	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	7,630	11.23%	6,947	10.67%
農業、林業	141	0.21%	156	0.24%
漁業	515	0.76%	467	0.72%
鉱業、採石業、砂利採取業	34	0.05%	35	0.05%
建設業	8,289	12.20%	7,386	11.35%
電気・ガス・熱供給・水道業	95	0.14%	86	0.13%
情報通信業	-	-	-	-
運輸業、郵便業	1,004	1.48%	902	1.39%
卸売業、小売業	6,658	9.80%	5,758	8.85%
金融業、保険業	4,763	7.01%	4,762	7.32%
不動産業	8,312	12.24%	7,871	12.09%
物品賃貸業	58	0.09%	62	0.10%
学術研究、専門・技術サービス業	444	0.65%	422	0.65%
宿泊業	494	0.73%	378	0.58%
飲食業	1,540	2.27%	1,509	2.32%
生活関連サービス業、娯楽業	1,619	2.38%	1,641	2.52%
教育、学習支援業	12	0.02%	15	0.02%
医療、福祉	1,260	1.86%	770	1.18%
その他のサービス	1,984	2.92%	1,784	2.74%
地方公共団体	10,153	14.95%	11,752	18.05%
個人(住宅・消費・納税資金等)	12,910	19.01%	12,383	19.02%
合計	67,923	100.00%	65,096	100.00%

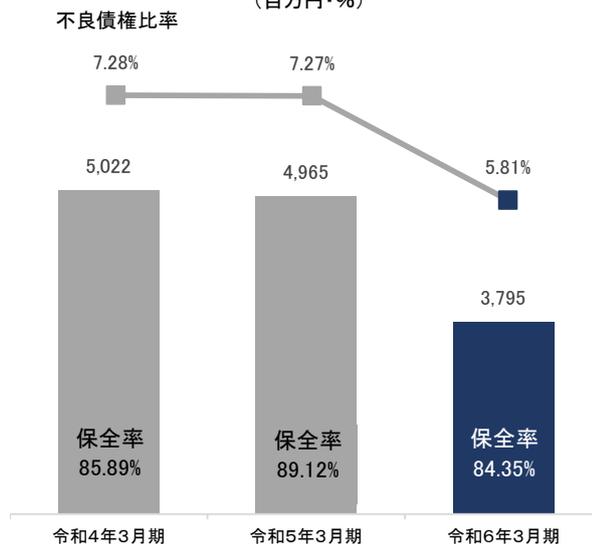
貸出金業種別内訳
(令和6年3月期)



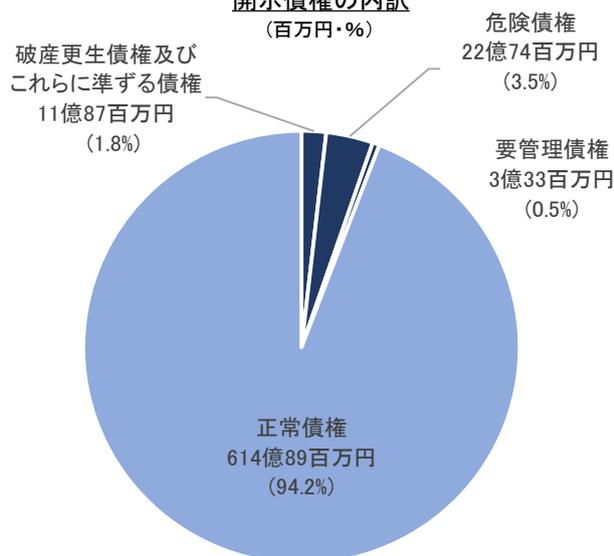
【不良債権の状況】

- 信用金庫法及び金融再生法に基づく不良債権額は37億95百万円となりました。内訳は、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」が11億87百万円、「危険債権」が22億74百万円、「要管理債権」が3億33百万円となりました。
- 不良債権比率は1.46ポイント低下の5.81%となり、不良債権に対する保全率は84.35%になりました。

不良債権の状況
(百万円・%)



開示債権の内訳
(百万円・%)



第101期 貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

令和 6年4月22日 作成
令和 6年5月30日 備付

住 所 富山県魚津市双葉町6番5号
信用金庫名 にかわ信用金庫
理 事 長 本多 敏明

科 目	金 額
(資産の部)	百万円
現 金	1,415
預 け 金	81,609
有 価 証 券	29,494
国 債	8,558
地 方 債	1,342
社 債	9,199
株 式	32
そ の 他 の 証 券	10,361
貸 出 金	65,096
割 引 手 形	370
手 形 貸 付	4,128
証 書 貸 付	57,232
当 座 貸 越	3,365
そ の 他 資 産	1,186
未 決 済 為 替 貸	33
信 金 中 金 出 資 金	946
前 払 費 用	2
未 収 収 益	163
そ の 他 の 資 産	39
有 形 固 定 資 産	2,039
建 物	537
土 地	1,406
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	96
無 形 固 定 資 産	45
ソ フ ト ウ ェ ア	13
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	31
前 払 年 金 費 用	155
債 務 保 証 見 返	120
貸 倒 引 当 金	△1,241
(うち個別貸倒引当金)	(△1,107)
資 産 の 部 合 計	179,922

科 目	金 額
(負債の部)	百万円
預 金 積 金	176,393
当 座 預 金	4,816
普 通 預 金	100,689
貯 蓄 預 金	121
通 知 預 金	2
定 期 預 金	67,108
定 期 積 金	2,761
そ の 他 の 預 金	894
そ の 他 負 債	118
未 決 済 為 替 借	73
未 払 費 用	20
給 付 補 填 備 金	0
未 払 法 人 税 等	1
前 受 収 益	12
払 戻 未 済 金	0
払 戻 未 済 持 分	0
資 産 除 去 債 務	1
そ の 他 の 負 債	8
賞 与 引 当 金	25
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	31
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	13
偶 発 損 失 引 当 金	25
繰 延 税 金 負 債	33
債 務 保 証	120
負 債 の 部 合 計	176,763
(純資産の部)	
出 資 金	503
普 通 出 資 金	503
利 益 剰 余 金	4,967
利 益 準 備 金	506
そ の 他 利 益 剰 余 金	4,461
特 別 積 立 金	4,239
(経営安定化積立金)	(250)
当 期 未 処 分 剰 余 金	222
会 員 勘 定 合 計	5,471
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△2,312
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△2,312
純 資 産 の 部 合 計	3,158
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	179,922

第101期 損益計算書
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和 6年4月22日 作成
令和 6年5月30日 備付

住 所 富山県魚津市双葉町6番5号
信用金庫名 にかわ信用金庫
理 事 長 本多 敏明

科 目	金 額
	千円 千円
経 常 収 益	1,950,056
資 金 運 用 収 益	1,435,014
貸 出 金 利 息	938,598
預 け 金 利 息	188,793
有 価 証 券 利 息 配 当 金	286,087
そ の 他 の 受 入 利 息	21,533
役 務 取 引 等 収 益	180,654
受 入 為 替 手 数 料	67,821
そ の 他 の 役 務 収 益	112,832
そ の 他 業 務 収 益	201,114
国 債 等 債 券 売 却 益	185,670
そ の 他 の 業 務 収 益	15,444
そ の 他 経 常 収 益	133,273
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	91,173
債 却 債 権 取 立 益	42,091
そ の 他 の 経 常 収 益	7
経 常 費 用	1,766,300
資 金 調 達 費 用	7,277
預 金 利 息	7,154
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	122
役 務 取 引 等 費 用	121,060
支 払 為 替 手 数 料	21,691
そ の 他 の 役 務 費 用	99,369
そ の 他 業 務 費 用	176,182
国 債 等 債 券 売 却 損	175,826
そ の 他 の 業 務 費 用	355
経 費	1,260,036
人 件 費	754,401
物 件 費	460,726
税 金	44,908
そ の 他 経 常 費 用	201,742
貸 出 金 償 却	191,284
そ の 他 の 経 常 費 用	10,457
経 常 利 益	183,756
特 別 利 益	-
特 別 損 失	376
固 定 資 産 処 分 損	0
減 損 損 失	376
税 引 前 当 期 純 利 益	183,380
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,512
法 人 税 等 調 整 額	5,719
法 人 税 等 合 計	7,231
当 期 純 利 益	176,148
繰 越 金 (当 期 首 残 高)	45,995
当 期 未 処 分 剰 余 金	222,144

【有価証券の時価情報】

- お客様からお預かりした預金は、地域の皆様へ融資しているほか、格付けの高い有価証券(国債、社債等)などリスクを限定した安全な資産で運用しております。
- 令和5年度においては、日本銀行による大規模金融緩和政策の終了への市場環境の変化から、市場金利が上昇(債券価格は下落)した結果、有価証券の時価は前期比で下落しました。

(単位:百万円)

【その他有価証券】	種 類	令和5年3月期			令和6年3月期		
		貸借対照表 計上額	取得原価	差 額	貸借対照表 計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	13,226	12,957	268	316	315	0
	国 債	2,708	2,614	94	-	-	-
	地 方 債	4,395	4,340	55	-	-	-
	社 債	6,121	6,002	119	316	315	0
	そ の 他	206	205	1	200	200	0
	小 計	13,433	13,163	269	516	515	0
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	19,985	21,079	△ 1,094	18,229	19,647	△ 1,418
	国 債	9,799	10,741	△ 941	8,558	9,825	△ 1,266
	地 方 債	849	870	△ 20	787	814	△ 27
	社 債	9,335	9,467	△ 132	8,883	9,008	△ 124
	そ の 他	10,386	11,427	△ 1,041	8,861	9,755	△ 894
	小 計	30,371	32,507	△ 2,136	27,090	29,403	△ 2,313
合 計	43,804	45,670	△ 1,866	27,607	29,919	△ 2,312	

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

(単位:百万円)

【満期保有目的の債券】	種 類	令和5年3月期			令和6年3月期		
		貸借対照表 計上額	時価	差 額	貸借対照表 計上額	時価	差 額
時価が貸借対照表 計上額を超えるもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	614	630	15	555	564	9
	社 債	-	-	-	-	-	-
	そ の 他	-	-	-	500	500	0
	小 計	614	630	15	1,055	1,064	9
時価が貸借対照表 計上額を超えないもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	-	-	-	-	-	-
	社 債	-	-	-	-	-	-
	そ の 他	1,300	1,266	△ 34	800	795	△ 4
	小 計	1,300	1,266	△ 34	800	795	△ 4
合 計	1,914	1,896	△ 18	1,855	1,861	5	

- (注) 1. 時価は期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

第101期 剰余金処分

科目	金額
当期末処分剰余金	222,144,062 円
利益準備金取崩額	3,370,500 円
計	225,514,562 円
剰余金処分額	210,061,620 円
普通出資に対する配当金(年2%)	10,061,620 円
特別積立金	200,000,000 円
繰越金(当期末残高)	15,452,942 円

第101期 通常総代会決議

令和6年6月14日開催の当金庫第101期通常総代会において、下記のとおり決議されました。
記

【報告事項】

- 第101期業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
本件については、業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容を報告いたしました。

【決議事項】

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
本件については、原案どおり承認可決されました。
- 第2号議案 定款一部変更の件
本件については、原案どおり承認可決されました。
- 第3号議案 会員資格解除に関する件
本件については、原案どおり承認可決されました。

以上



理事長 本多 敏 明

常務理事	貫 名 昭 人	常勤監事	七 澤 久 徳
常勤理事	船 屋 和 芳	員外監事	坂 井 浩
常勤理事	中 村 悟	監 事	小 泉 昌 雄
理 事	四十物 直之		
理 事	大 愛 高 義		
理 事	星 名 照 彦		

貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分は、信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、河村拓栄公認会計士の監査を受け、適法意見の監査報告書を受領しております。

トピックス（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

令和5年

- 4月 ・ 入善高校農業科の生徒が育てた「花の苗」を年金受給者に店頭で配布しました。
- ・ 「魚津しんきろうマラソン」に職員16名が参加したほか、多くの職員がボランティア協力と私設エイド（給水所）での飲料提供を行いました。
- 6月 ・ 「魚津神社春季例大祭」後に清掃活動を行いました。……①
- ・ 第100期総代会を開催し、総代を対象に創立100周年記念祝賀会を開催しました。
 - ・ 創立100周年記念ゴルフ大会を開催しました。また、大会参加者から募ったチャリティ募金を各地区の社会福祉協議会へ寄贈しました。
 - ・ 新庄支店で防犯訓練を行いました。
- 7月 ・ 10万円分のギフトカードや北海道の特産物が抽選で当たる100周年記念懸賞品付定期預金「エール」を発売しました。
- ・ 100周年記念特別資金として、節季資金、賃上げ、補助金のつなぎ他あらゆる資金繰り支援の短期資金融資の取扱いを期間限定で開始しました。
 - ・ 「14歳の挑戦」で、魚津市内の中学生が信用金庫の仕事を体験しました。
 - ・ 鴨川一斉清掃（魚津市）に参加しました。
- 8月 ・ 魚津まつり（魚津市）において、「せり込み蝶六踊り街流し」に50名参加。また、ユネスコ無形文化遺産「たてもん祭り」にボランティアとして参加しました。……②
- ・ 「入善音頭まち流し」（入善町）に参加しました。
- 9月 ・ スマートフォンアプリを利用して、無料で少額の個人間送金ができるサービス「こたら送金」の取扱いを開始しました。
- ・ 創立100周年記念日（9月19日）を迎え、記念日から3日間、お客様感謝Dayとして、ご来店のお客様へ祝い品（お菓子やオリジナル扇子）をプレゼントしました。
 - ・ 創立100周年を記念して、朝日、入善、黒部、魚津、滑川、富山の社会福祉協議会に災害時用発電機を贈りました。……③
 - ・ 創立100周年記念式典及び祝賀会を開催し、取引先や関係者約120人と共に100周年を祝い、さらなる発展を誓いました。……④
- 10月 ・ 石原良純氏を講師に招き、創立100周年記念講演会を開催しました。……⑤
- ・ 創立100周年記念旅行企画「九州の旅」に多くのお客様が参加され、旅行を楽しんで頂きました。……⑥
 - ・ 片貝山ノ守紅葉まつりにて「しんきんカフェ」を出店し、ホットコーヒーを提供しました。
- 11月 ・ 普通預金と定期性総合口座について、外部からの磁気の影響を受けにくい新通帳（Hi-Co通帳）を導入しました。

令和6年

- 1月 ・ 令和6年能登半島地震により、直接的または間接的に影響を受けるお客様の資金繰りや返済等に関するご相談、ご要望に対応するため、営業店に「震災特別相談窓口」を開設しました。
- ・ 令和6年能登半島地震により被害を受けられたお客様を対象に、手数料の一部減免対応をしました。
 - ・ 令和6年能登半島地震で被災された個人の方を対象に、「災害復旧ローン」の取扱いを開始しました。
 - ・ 新川高校3年生を対象に金融リテラシー講座（金融教育）を開催しました。……⑦
 - ・ 住宅借入金等特別控除制度の説明会を開催しました。
- 3月 ・ 県内7金庫合同の給与振込口座キャンペーン「ラッキー7キャンペーン」と並行して「給与振込キャンペーン2024」を実施しました。



営業区域と店舗のご案内

■当金庫では、県内全域の活性化を通じた地方創生、さらなるお客様への利便性向上を目的として、営業エリアを富山県全域としております。



【店舗のご案内】

■ 本店営業部	魚津市双葉町6-5	TEL 0765-24-1155
■ 魚津駅前支店(※1)	魚津市釈迦堂1-13-11	TEL 0765-23-1211
■ 桜井支店	黒部市三日市3146-1	TEL 0765-52-0227
■ 生地支店(※1)	黒部市生地548	TEL 0765-56-8122
■ 入善支店(※1)	下新川郡入善町入膳5444-3	TEL 0765-72-0143
■ 泊支店 (※2)	下新川郡朝日町泊418	TEL 0765-82-0246
■ 水橋支店(※1)	富山市水橋辻ヶ堂135-3	TEL 076-478-1151
■ 新庄支店(※1)	富山市向新庄町1-1-2	TEL 076-451-5158
■ 富山支店(※2)	富山市西町7-6	TEL 076-421-2455
■ 滑川営業部	滑川市四間町693-1	TEL 076-475-3121

※1 11:30~12:30の間、窓口営業を休止させていただいております

※2 12:30~13:30の間、窓口営業を休止させていただいております



富山県魚津市双葉町6番5号

TEL. 0765-24-1214(代) FAX. 0765-24-6277

URL <https://www.shinkin.co.jp/niikawa/>